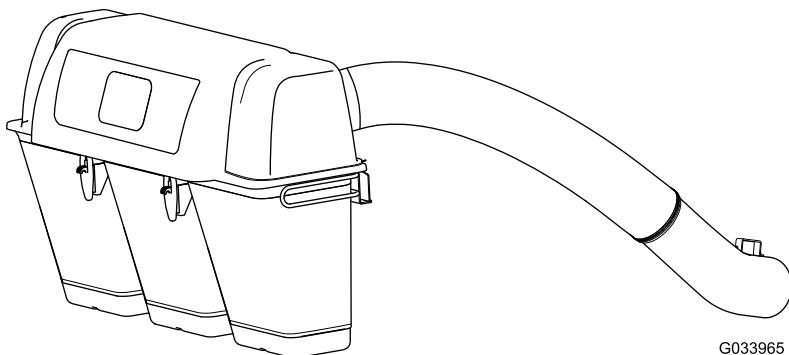


TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

トリプルバガーホッパー キット
Groundsmaster® 360 および 7200 シリーズ・ト
ラクションユニット
モデル番号31211—シリアル番号 316000001 以上



⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、
ガンや先天性異常などの原因となる化学物
質が含まれているとされております。

この製品は、関連するEU規制に適合しています 詳
細については、DOC シート規格適合証明書をご
覧ください。

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すため
の警告記号 **図 2** を使用しております。これらは死亡
事故を含む重大な人身事故を防止するための注意
ですから、必ずお守りください。



図 2

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要** は
製品の構造などについての注意点を、**注** はその他の
注意点を表しています。

目次

安全について	3
組み立て	4
1 マシンの準備を行う	4
2 バガーアダプタを取りつける	5
3 フードアセンブリとバッグの取り付け	5
4 排出チューブを取り付ける	6
5 駐車ブレーキの調整	7
6 タイヤ空気圧を点検する	7
運転操作	8
パッフルの位置調整	8
集草バッグにたまつた刈かすを捨て る	8
バガーが詰まった場合の対処	9
バガーの取り外し	9
移動走行を行うとき	10
ヒント	10
保守	12
推奨される定期整備作業	12
フードスクリーンの清掃	12
バガーとバッグの清掃	12
バガーの点検	12
刈り込みブレードの点検	12
刈り込みブレードの取り付け	12
保管	13
故障探究	14

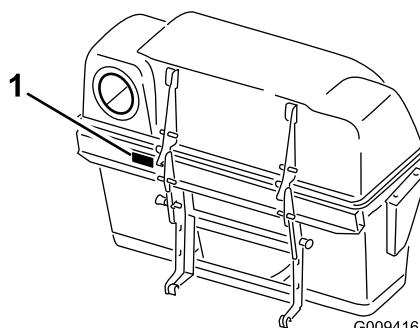


図 1

1. バガーホッパーの銘板取り付け位置

安全について

以下の注意事項は、トロの芝刈り機を初めとする製品を安全に使用していただくために必ずお守りいただきたい事項です。

- 各部の操作方法や本機の正しい使用方法、警告表示などに十分慣れ、安全に運転できるようになります。
- 集草袋などのアタッチメントを使用する際には、特別の注意が必要です。アタッチメントによってマシンの運転特性や安定性が変わる場合がありますからご注意ください。
- 斜面での安定性を確保するために、メーカーの指示にしたがってウェイトやカウンタウェイトを必ず正しく搭載してください。
- 急斜面ではバガーを使用しないこと。集草装置が重くなるとマシンを制御できなくなったり転倒したりする危険があります。
- 斜面では必ず減速し安全に十分注意して運転してください。また斜面では、必ず決められた走行方向や作業方向を守ってください。ターフの状態は、マシンの安定性に大きな影響を与えます。段差の近くでの運転には特に注意してください。
- 斜面では動作も運転操作もゆっくりと行なうことが原則です。急旋回したり不意に速度や方向を変えたりしないでください。
- 集草装置をとりつけることによって視界が制限される場合があります。バックするときには十二分の注意が必要です。
- トレーラやトラックに芝刈り機を積み降ろすときには安全に十分注意してください。
- 絶対に、デフレクタを上げたまま、取り外したまま、あるいは改造したりして刈り込みをしないでください集草装置を使用するときは別。
- 可動部に手足を近づけないよう注意してください。エンジンを駆動させたままで調整を行うのは避けてください。
- どんな場合であれ集草バスケットを空にする時や詰まりを除去する時も含みます、運転位置を離れる時には、平らな場所に停車し、駆動装置を解除し、タイヤに輪止めをかけ、エンジンを停止させてください。
- 集草装置を外して刈り込みを行う場合には、必ず、以前に取り外したデフレクタやガードなどを元通りに取り付けてから運転してください。集草装置もデフレクタも取り付けない状態の運転は絶対にしないでください。
- 集草バスケットを空にする時やシュートの詰まりを除去する時には、エンジンを停止させてください。
- 集草装置の中に、長期間にわたって刈かすを放置しないでください。
- 集草装置の各部が消耗や劣化してくると、内部の可動部が露出したり、内部に吸い込まれたも

のが飛び出してくれる危険があります。各部を頻繁に点検し、必要に応じてメーカーが推奨する交換部品と交換するようにしてください。

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	アダプタ ねじ 1/2 x 3-1/2 インチ ロックナット 1/2 インチ	1 2 2	バガーアダプタを取り付けます。
3	フードアセンブリ バッグ ピンヘアピンコッターアセンブリ	1 3 2	フードアセンブリとバッグを取り付けます。
4	上チューブ 下側チューブ ホースクランプ	1 1 2	排出チューブを取り付けます。
5	必要なパーツはありません。	—	駐車ブレーキを調整する。
6	必要なパーツはありません。	—	タイヤ空気圧を点検する。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

プロアと仕上げキットを取り付ける準備として、以下の作業を行ってください。

- PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
- エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
- デッキの破損や曲がりをすべて修理し、なくなっている部品があればすべて取り付ける。
- 機体をきれいに洗浄する。特に、取り付け位置となる機体後部に汚れがないようにする。

2

バガーアダプタを取りつける

この作業に必要なパーツ

1	アダプタ
2	ねじ 1/2 x 3-1/2 インチ
2	ロックナット 1/2 インチ

手順

機体のヒッチにアダプタを取り付けるねじ 1/2 x 3-1/2 インチ 2 本、ロックナット 1/2 インチ 2 個を使用して図 3 のように取り付ける。

注 ヒッチの取り付け手順についてはヒッチキットの取り付け要領書を参照のこと。

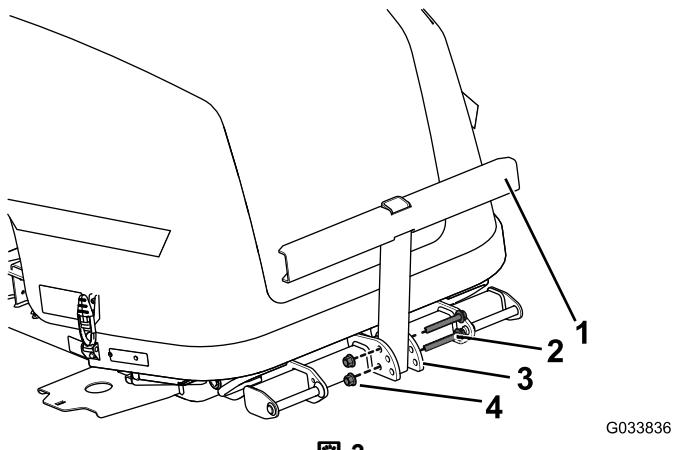


図 3

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. アダプタ | 3. ヒッチ |
| 2. ねじ 1/2 x 3-1/4 インチ | 4. ロックナット 1/2 インチ |

3

フードアセンブリとバッグの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	フードアセンブリ
3	バッグ
2	ピンヘアピンコッターアセンブリ

手順

- フードアセンブリを仰向けにセットする。
- 下側取り付けブラケットにフックをかける図 4 の A。
- フードアセンブリを立てて下側バガー取り付けブラケットに向ける図 4 の B。
- バガーの穴を、上側取り付けブラケットに合わせて取り付ける図 4 の C。
- ピンを取り付け、ヘアピンコッターで左右から固定する図 4 の C。

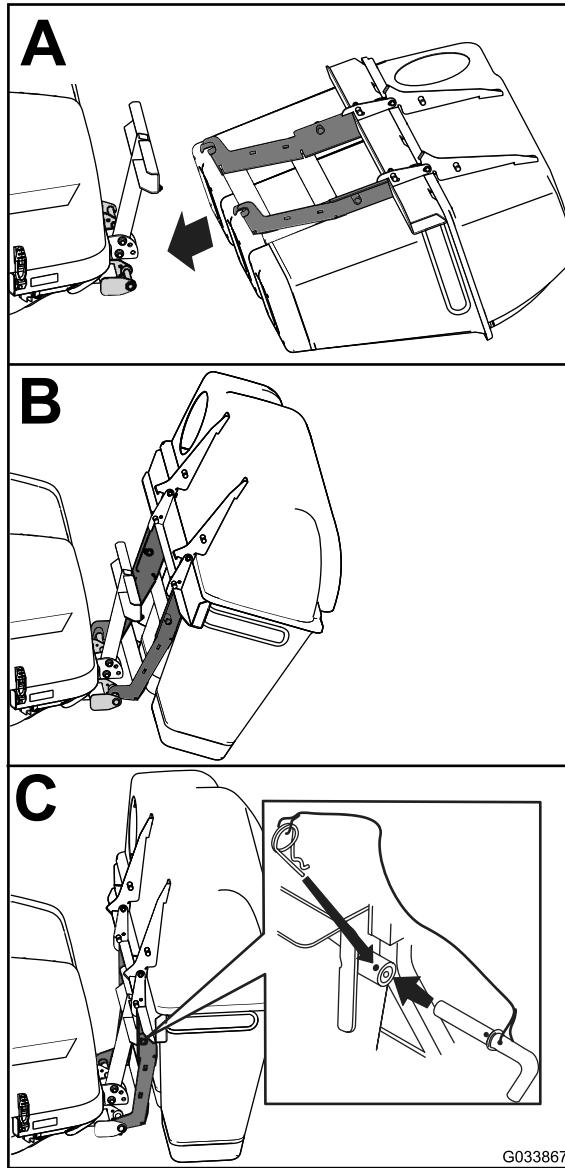


図 4

6. バッグのタブをフードアセンブリのノッチに取り付ける図5。

注 全部のバッグについてこれを行う。

注 バガーフレームにバッグが寄りかかるようしてください。

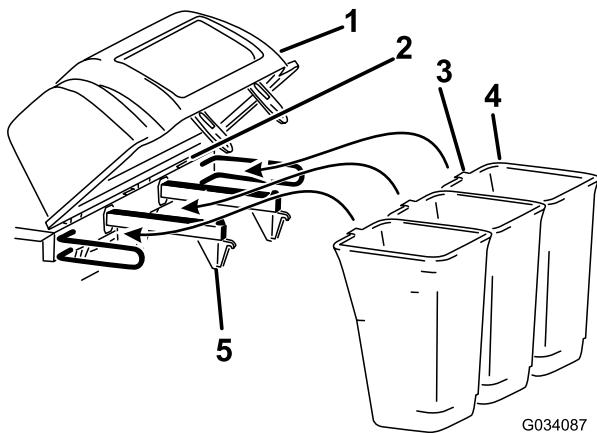


図 5

- | | |
|-------------|------------|
| 1. フードアセンブリ | 4. バッグ |
| 2. ノッチ | 5. バガーフレーム |
| 3. バッグのタブ | |

7. バガーフードを下ろす図6。

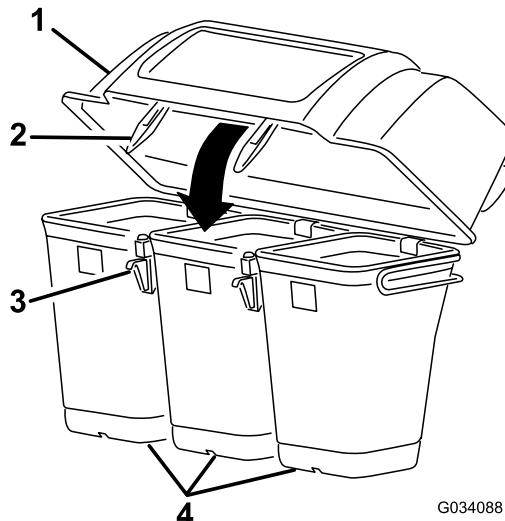


図 6

- | | |
|-----------|------------|
| 1. フード | 3. ラッチのフック |
| 2. バガーラッチ | 4. バッグ |

8. ラッチのフックにバガーをかける図7。
9. ラッチを押し下げてロックする図7。

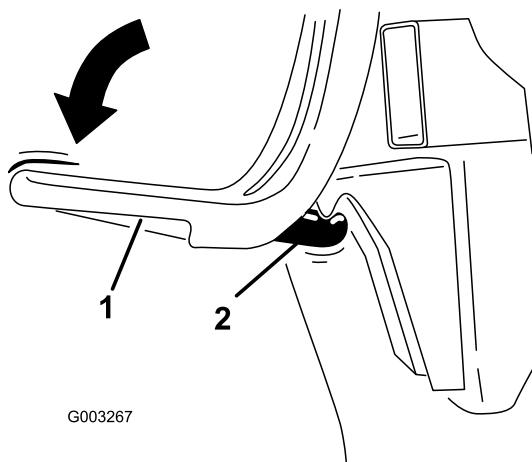


図 7

- | | |
|-----------|------------|
| 1. バガーラッチ | 2. ラッチのフック |
|-----------|------------|

4

排出チューブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	上チューブ
1	下側チューブ
2	ホースクランプ

手順

重要 排出チューブを取り付ける作業は、刈り込みデッキの刈高設定が一番低い設定にして行ってください。

注 マシンからバガーを取り外した場合には、必ずデフレクタを取り付けてくださいプロアの取り付け要領書を参照。

1. PTOを解除し、駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. 刈り込みデッキを、一番低い刈高に設定する。
4. プロアのフードにすでに取り付けられている湾曲チューブに上側チューブを取り付け、チューブ同士をホースクランプで固定する図8。
5. 上側チューブに下側チューブを接続する図8。
6. ホースクランプを使って上側チューブと下側チューブを固定する。

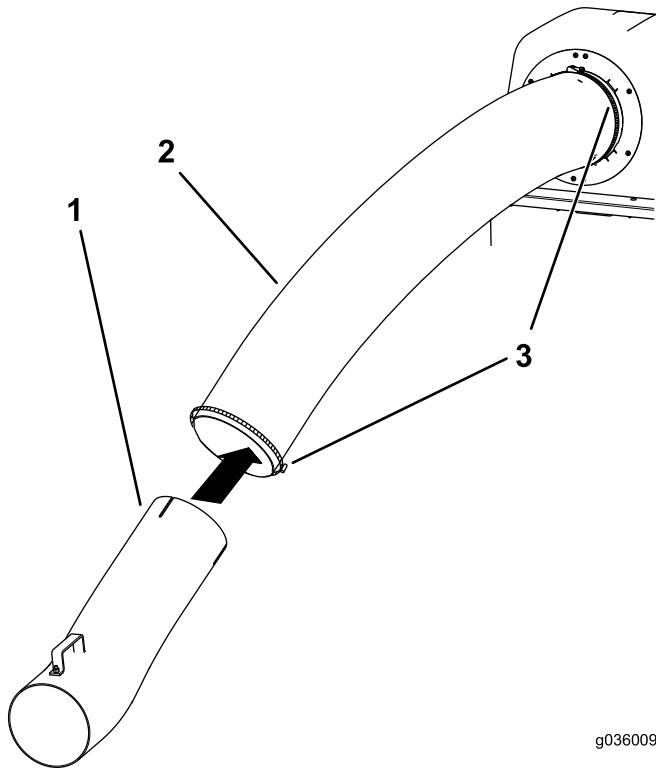


図 8

- 1. 下側チューブ
- 2. 上側チューブ
- 3. ホースクランプ

7. チューブアセンブリをプロアに接続する図9。

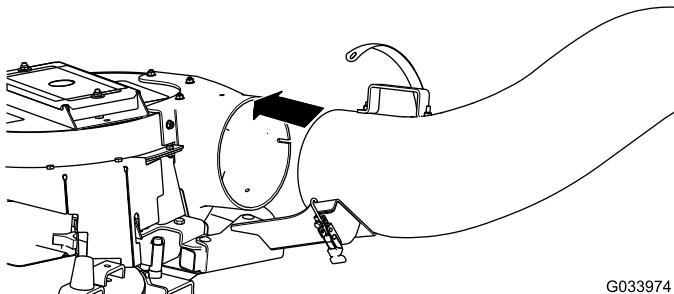


図 9

8. チューブにラッチブラケットのストラップを掛け、ラッチフックでチューブをプロアに固定する図10。

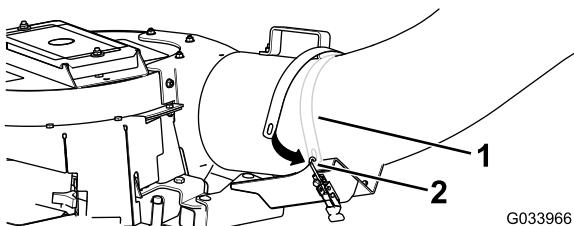


図 10

- 1. ラッチブラケットストラップ
- 2. ラッチのフック

5

駐車ブレーキの調整

必要なパーツはありません。

手順

駐車ブレーキが適切に調整されていることを確認する。調整手順についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。

6

タイヤ空気圧を点検する

必要なパーツはありません。

手順

注 ウエイト搭載分を補填するためにタイヤ空気圧を大きくする必要があります。

前キャスタタイヤおよび後タイヤの空気圧を点検し、適正值に調整する図11。

グランドマスター 360

全タイヤの空気圧 $1.72\text{bar} = 1.75\text{kg/cm}^2 = 25\text{psi}$

グランドマスター 7200

後タイヤの空気圧 $1.38\text{bar} = 1.4\text{ kg/cm}^2 = 20\text{psi}$

前キャスタホイールの空気圧 $2.07\text{bar} = 2.1\text{kg/cm}^2 = 30\text{psi}$ 。

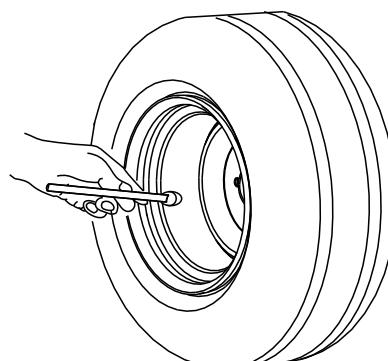


図 11

運転操作

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

重要 マシンから離れる時には、たとえ数分間であっても必ず駐車ブレーキを掛けしてください。

△警告

人身事故や電気系統の破損を防止するために以下の注意を厳守すること

- このアタッチメントを使用する前に、必ず刈り込み装置のオペレーターズマニュアルをよく読み、操作方法と安全上の注意を十分に理解してください。
- エンジン作動中には絶対にバガーやバガーチューブを取り外さない。
- バガーが詰まった場合には、かならずエンジンを停止し、機械の可動部がすべて完全に停止してから詰まりの解消作業に掛かる。
- 絶対に、エンジンを掛けたままで整備や修理を行わない。
- 駐車ブレーキを掛ける。

△警告

デフレクタ、バガーチューブ、あるいはバガーアセンブリを取り付けずに刈り込み作業を行うことは、自分自身や周囲の人間を回転刃やそれに飛ばされてくる異物の危険にさらす危険行為であることを理解する。回転刃に触れたり、回転刃に跳ね飛ばされたものに当たると大けがをしたり最悪の場合には死亡事故となる。

- バガーを取り外した場合には、必ずデフレクタを取り付け、側方排出モードにしてからマシンを使用する。
- デフレクタが万一破損しているのを発見した場合には直ちに交換すること。デフレクタは刈かすなどの排出方向をターフに向けるための部品である。
- 刈り込みデッキの下には絶対に手足を差し入れないこと。
- 刈り込みデッキの排出部や刈り込みブレードの近くを清掃する時には必ずPTOを解除OFFし、エンジンのキーを抜き取る。また、キーを抜き取ったら、点火プラグの高圧コードも外しておく。
- シートが詰まった場合にも、必ずエンジンを停止させてから詰まりの解消を行う。

△注意

置きっぱなしの機械を子供などがいたずらで運転すると大きな事故になる恐れがある。

機械から離れる時には、たとえ数分間であっても必ず駐車ブレーキを掛け、キーを抜き取る。

バッフルの位置調整

バッフルを集草用のB位置中位置に調整する。詳細については、マシンのオペレーターズマニュアル参照。

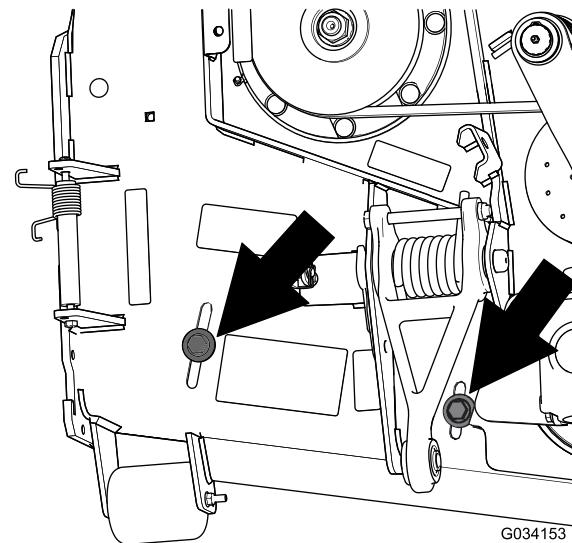


図 12

集草バッグにたまつた刈かすを捨てる

刈かすが入った集草バッグは非常に重い。刈かすが入った集草バッグの取り扱いには十分注意すること。

- PTOを解除し、駐車ブレーキを掛け、法面に駐車している場合にはタイヤに輪止めをかける。
- バガーのラッチを外す。
- バガーフードを開ける。
- 刈かすをバッグの中に入れる。両手を使ってバッグを引っ張り上げバガーブラケットから外す。
- バッグの下についている取っ手を握り、バッグを上下逆さまにして刈かすを捨てる図13。

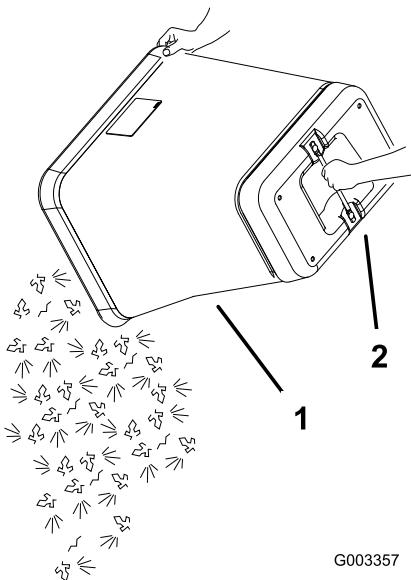


図 13

1. バッグ

2. 下部の取っ手

G003357

6. もう一方のバッグにも同じ作業をする。
7. バッグのタブをバガーサポートのフレームのノッチに掛ける。

注 全部のバッグについてこれを行う。

8. バガーフードを下ろす。
9. バガーフードにラッチを掛ける。

バガーが詰まった場合の対処

▲ 警告

バガーが作動中はプロアが回転するので、これに手が触れると大けがをする可能性がある。

- プロアの調整、清掃、修理、点検、およびシートの詰まりを取り除く前には、必ずエンジンを停止させ、機械の可動部がすべて完全に停止してから作業に掛かること。キーを抜き取る。
- シートやプロアチューブの詰まりの除去には必ず棒などを使用し、決して素手で行わない。
- 手足や頭や衣服を可動部に近づけないように十分注意し、カバーなどが付いていても過信しない。

1. PTOを解除し、駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. バッグを空にする。

4. 下チューブのラッチを外す。
5. バガーからチューブを外す。
6. 棒などを使用して決して素手で行わないこと、シートやプロアチューブ内部の詰まりを除去する。

注 ほとんどの場合、チューブを揺すると詰まりは解消します。

7. プロアアセンブリが詰まっている場合には、バガーブロアアセンブリのラッチを外してベルトを外してアセンブリを開ける。
8. 棒などを使用して決して素手で行わないこと、プロアアセンブリ内部の詰まりを除去する。
9. 詰まりが除去できたら、バガーシステムを元通りに組み立て、作業を再開する。

バガーの取り外し

▲ 警告

エンジン停止直後はエンジンの周囲の機器が高温になっている。高温部分に触れると大火傷をする恐れがある。

- 高温時にはエンジンに触れないように注意すること。
- バガーの取り外しはエンジンが十分に冷えてから行う。

1. PTOを解除し、駐車ブレーキを掛け、タイヤに輪止めをかける。
2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. 下側排出チューブのラッチを外し、このチューブをプロアアセンブリから抜き出す。
4. バガーのフードからチューブを外す。
5. 刈り込みデッキを、一番低い刈高に降下させる。
6. デッキプーリアセンブリの上にあるベルトカバーのラッチを外す。
7. 刈り込みデッキのプーリアセンブリからバガーベルトを取り外す。
8. プロアアセンブリを開ける。
9. ピボット穴からプロアアセンブリを取り外す。
10. 側方排出モードに変更する場合には、必ずデフレクタを取り付け、デフレクタを排出モードにセットしてからマシンを使用すること。
11. フードバッグアセンブリを取り外す。

移動走行を行うとき

移動走行時には必ずバガーを空にしておいてください。

▲ 危険

バガーに刈かすを入れたままで走行すると機体を破損させる恐れがあります。

移動走行時には必ずバガーを空にしておいてください。

ヒント

マシンのサイズ

このアタッチメントを取り付けると、刈り込み機械の長さ、幅、ともに大きくなることを十分認識しておいてください。狭い場所で急な旋回をしたりすると、アタッチメントや周囲の事物を破損させる可能性があります。

トリミング

トリミングは、デッキの左側のみで行ってください。デッキの右側でトリミングすると、バガーを破損させる可能性があります。

刈り込み高さ

最適な条件で集草できるように、デッキの刈高設定は $t \leq 5176\text{mm}$ 以上にしないこと、あるいは、一回の刈り取り長さが草丈の $1/3$ 以上にならないようにすることどちらか小さい方の条件を採用することをお奨めします。これ以上の刈り取りを行うとバキューム効率が悪くなります。

刈り込み回数頻度

刈り込み作業はあまり日にちをあけずに特に成長期行いましょう。草が伸びすぎてしまった場合には2度に分けて刈り込みを行う必要があります。

刈り込みのテクニック

刈り上がりをきれいに見せるためには、刈幅がすこし重なるようにして刈り込んで行くのがベストです。こうするとエンジンの負担も軽くなり、ブロアやチューブが詰まるようなトラブルも少なくなります。

集草速度

刈り込み速度が速すぎるあるいはエンジン速度が遅すぎるとバガーが詰まってしまう可能性があります。法面では、刈り込み速度を少し遅くしたほうが良い結果ができる場合があります。可能な場合は必ず上から下へ向かって刈ってください。

▲ 注意

バガーに刈かすがたまるにつれてマシンの後部が重くなってしまいます。法面で上向きに停止したあとに急発進すると、機体の前部が浮き上がってハンドルが効かなくなる危険があります。

- 法面では急停止・急発進しないでください。登り発進を避けるようにしましょう。
- 上り坂で停止してしまった場合には、PTOを解除してください。そしてそのまま、ゆっくりと、バックで法面を下がってください。
- 法面では速度を変えたり停止したりしないでください。

草丈が長い場合の集草

草が伸びすぎてしまった場合や、芝生がぬれている場合には、通常よりも高い刈高で刈り込みを行って集草してください。そして、次に通常の刈高にセットしてもう一度刈り込み・集草してください。

非常に草丈が高くなると刈かすが非常に重くなり、ブロアの力でバガーに吹き込みできなくなります。こうなるとチューブやブロアが詰まりを起こします。これを避けるためには、まず高めの刈高で一度刈り込みを行い、次に通常の刈高に戻してもう一度刈り込むのがよいのです。

草がぬれている場合の集草

できれば、ぬれた芝の集草はやめ、芝が乾いているときに刈り込んでください。ぬれた芝草は詰まりを起こしがちです。

詰まりトラブルを減らすには

これを避けるためには、まず高めの刈高で、刈り込み速度を落として一度刈り込みを行い、次に通常の刈高に戻してもう一度刈り込むのがよいのです。

詰まりの兆候を知る

集草しながらの刈り込みでも、デッキの前部から少しの量の刈かすが吹き出してくれるのが普通です。この吹き出し量が多い場合には、集草バッグが一杯であるか、チューブなどが詰まっている可能性があります。

集草ブレード

ほとんどの場合には、標準のハイリフトブレードが集草に最も相応しいブレードです。

乾いた状態での集草には、トロのアトミックブレードをお奨めします。乾燥してほこりっぽい条件の場合には、ミディアムリフトまたはローリフトのブレードを使うとほこりの舞い上がりを抑制しながらうまく集草することができます。

どのブレードを使うのが最も適切かについては、弊社代理店にご相談ください。

縁石の乗り越えとトラックなどへの積み込み

縁石の乗り越えやトラックなどへの積み込みを行う場合には、必ずデッキを一番高い位置にセットしてください。デッキを低い位置にセットしたままで縁石の乗り越え等を行うと、デッキを破損する恐れがあります。縁石の高さが 15 cm を越える場合には、デッキを最高位置にした状態で縁石に対して 90 度の角度で乗り越えを行ってください。 トラックやトレーラに積み込む場合には十分に注意して作業を行ってください。

保守

推奨される定期整備作業

整備間隔	整備手順
使用開始後最初の 8 時間	<ul style="list-style-type: none">バガーの点検を行う。
使用するごとまたは毎日	<ul style="list-style-type: none">フードのスクリーンを清掃する。バガーを清掃する。
100運転時間ごと	<ul style="list-style-type: none">バガーの点検を行う。

フードスクリーンの清掃

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

スクリーンは使用ごとに清掃してください。芝生がぬれている時は頻繁な清掃が必要になります。

- PTOを解除し、駐車ブレーキを掛ける。
- エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
- バガーフードを開ける。
- スクリーンについている汚れを除去する。
- バガーフードを閉じる。

バガーとバッグの清掃

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

バガーは使用ごとに毎日清掃してください。

- バガーフード、バッグ、チューブおよび刈り込みデッキの内側および外側を洗浄する。洗浄には自動車用の刺激性の少ない洗剤を使用する。
- 硬くこびりついている刈かすを十分に除去すること。
- 洗浄が終わったら各部を十分に乾かす。

注 全部の部品を元通りに取り付けたら、マシンを数分間運転して機体を完全に乾燥させます。

バガーの点検

整備間隔: 100運転時間ごと

使用開始後最初の 8 時間

- PTOを解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
- エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
- 上チューブ、下チューブ、バガーフード、プロアセンブリを点検する。これらが破れていたり破損していたりしたら交換してください。
- バッグ、バガーフレーム、スクリーンを点検する。これらが破れていたり破損していたりした場合は交換する。
- 体各部のゆるみを点検し、必要な締め付けや交換、修理を行う。

刈り込みブレードの点検

- 刈り込みブレードは定期的に点検し、また、異物に当たった場合には直ちに点検する。
- ブレードがひどく磨耗していたり破損している場合には新しいものに交換する。ブレードの保守の詳細については、マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

刈り込みブレードの取り付け

ほとんどの場合には、標準のハイリフトブレードが集草に最も相応しいブレードです。

乾いた状態での集草には、トロのアトミックブレードをお奨めします。乾燥してほこりっぽい条件の場合には、ミディアムリフトまたはローリフトのブレードを使うとほこりの舞い上がりを抑制しながらうまく集草することができます。

どのブレードを使うのが最も適切かについては、弊社代理店にご相談ください。

ブレーの詳細については、刈り込み機械のオペレーターズマニュアルを参照してください。

保管

1. バガー・アタッチメントを洗浄する [バガーとバッグの清掃 \(ページ 12\)](#)を参照。
2. バガー・アタッチメントに破損がないか点検する。
3. バッグが空であること、また完全に乾いていることを確認する。
4. ベルトに磨耗や割れが発生していないか点検する。
5. マシンの格納は、汚れていない乾燥した、直射日光の当たらない場所で行う。屋外で保管しなければならない場合には、防水カバーを掛ける。カバーを掛けることによりプラスチックの寿命を延ばすことができる。

故障探究

問題	考えられる原因	対策
異常に振動する。	<ol style="list-style-type: none"> ブレードが曲がっているバランスが悪い。 ブレード取り付けボルトがゆるい。 プロアのプーリまたはプーリーアセンブリがゆるい。 バガーベルトが摩耗している。 プロアのファンブレードが曲がっているかバランスが悪い。 	<ol style="list-style-type: none"> 新しいブレードを取り付ける。 取り付けボルトを締め付ける。 プーリを締めつける ベルトを交換する。 代理店に連絡する。
集草性能が悪い。	<ol style="list-style-type: none"> エンジン速度が低い。 バガーフードのスクリーンが詰まりを起こしている。 バガーベルトがゆるい。 プロアやチューブが詰まっている。 バッグが一杯になっている。 	<ol style="list-style-type: none"> エンジンは常に全開で使用する。 スクリーンを清掃して汚れを除去する。 バガーベルトを交換する。 詰まりを除去する。 バッグを空にする。
プロアやチューブが何度も詰まる。	<ol style="list-style-type: none"> バッグが一杯になっている。 エンジン速度が低い。 芝草がぬれすぎている。 芝草が長すぎる。 フードのスクリーンが詰まりを起こしている。 走行速度が速すぎる。 バガーベルトが摩耗している。 	<ol style="list-style-type: none"> まめにバッグを空にする。 エンジンは常に全開で使用する。 乾いているときに刈り込む。 一回の刈り込みでの刈り取り長さを、5176mm または草丈の 1/3 以下どちらか小さい方に制限する。 スクリーンを清掃して汚れを除去する。 フルスロットルでゆっくり作業する。 ベルトを交換する。
ごみが吹き出してくる。	<ol style="list-style-type: none"> バッグが一杯になっている。 走行速度が速すぎる。 刈り込みデッキの水平調整が悪い。 	<ol style="list-style-type: none"> まめにバッグを空にする。 フルスロットルでゆっくり作業する。 デッキの水平調整についてはオペレーターズマニュアルを参照する。
プロアのインペラが自由に回転しない。	<ol style="list-style-type: none"> プロアが詰まっている。 インペラの心がずれている。 	<ol style="list-style-type: none"> プロアのインペラ部分を清掃して汚れを除去する。 代理店に連絡する。

米国外のディストリビューター一覧表

ディストリビュータ輸入販売代理店 国	電話番号	ディストリビュータ輸入販売代理店 国	電話番号
Agrolanc Kft ハンガリー	36 27 539 640	Maquiver S.A. コロンビア	57 1 236 4079
Asian American Industrial (AAI) 香港	852 2497 7804	Maruyama Mfg. Co. Inc. 日本	81 3 3252 2285
B-Ray Corporation 大韓民国	82 32 551 2076	Mountfield a.s. チェコ共和国	420 255 704 220
Brisa Goods LLC メキシコ	1 210 495 2417	Mountfield a.s. スロバキア	420 255 704 220
Casco Sales Company プエルトリコ	787 788 8383	Munditol S.A. アルゼンチン	54 11 4 821 9999
Ceres S.A. コスタリカ	506 239 1138	Norma Garden ロシア	7 495 411 61 20
CSSC Turf Equipment (pvt) Ltd. スリランカ	94 11 2746100	Oslinger Turf Equipment SA エーグル	593 4 239 6970
Cyril Johnston & Co. 北アイルランド	44 2890 813 121	Oy Hako Ground and Garden Ab フィンランド	358 987 00733
Cyril Johnston & Co. アイルランド共和国	44 2890 813 121	Parkland Products Ltd. ニュージーランド	64 3 34 93760
Fat Dragon 中華人民共和国	886 10 80841322	Perfetto ポーランド	48 61 8 208 416
Femco S.A. グアテマラ	502 442 3277	Pratoverde SRL. イタリア	39 049 9128 128
FIVEMANS New-Tech Co., Ltd 中華人民共和国	86-10-6381 6136	Prochaska & Cie オーストリア	43 1 278 5100
ForGarder OU エストニア	372 384 6060	RT Cohen 2004 Ltd. イスラエル	972 986 17979
ゴルフ場用品株式会社 日本	81 726 325 861	Riversa スペイン	34 9 52 83 7500
Geomechaniki of Athens ギリシャ	30 10 935 0054	Lely Turfcare デンマーク	45 66 109 200
Golf international Turizm トルコ	90 216 336 5993	Lely (U.K.) Limited 英国	44 1480 226 800
Hako Ground and Garden スウェーデン	46 35 10 0000	Solvert S.A.S. フランス	33 1 30 81 77 00
Hako Ground and Garden ノルウェー	47 22 90 7760	Spyros Stavrinides Limited キプロス	357 22 434131
Hayter Limited (U.K.) 英国	44 1279 723 444	Surge Systems India Limited インド	91 1 292299901
Hydroturf Int. Co Dubai アラブ首長国連合	97 14 347 9479	T-Markt Logistics Ltd. ハンガリー	36 26 525 500
Hydroturf Egypt LLC エジプト	202 519 4308	Toro Australia オーストラリア	61 3 9580 7355
Irrimac ポルトガル	351 21 238 8260	トロ・ヨーロッパNV ベルギー	32 14 562 960
Irrigation Products Int'l Pvt Ltd. インド	0091 44 2449 4387	Valtech モロッコ	212 5 3766 3636
Jean Heybroek b.v. オランダ	31 30 639 4611	Victus Emak ポーランド	48 61 823 8369

欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について

トロ・ワランティー・カンパニートロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるよう、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用

トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について

トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます

トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報やその訂正のためのアクセス

登録されているご自分の情報をご覧になりたい場合には、以下にご連絡ください legal@toro.com.

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワンティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。

*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department

Toro Warranty Company

8111 Lyndale Avenue South

Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740

E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーはオペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toro の純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクセサリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、フレーキバッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびペアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キヤスタホイール、ペアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量 kWh が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 35 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額遞減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての默示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また默示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。